

授業科目 動作分析学

【担当教員名】 江原義弘	対象学年	1 ② 3 4	対象学科	理学・作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 身体運動を力学的にとらえる方法を学ぶ。
 動作の分析方法を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 力学の基礎事項（重心・床反力・床反力作用点・作用反作用）が説明できる
2. 動作を分析して、分析結果を他の人にわかりやすく説明できる
3. 卒業研究で動作の分析をテーマとする場合に、自由自在に機器を操作できる

作業療法学科
専門

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	力学の復習、人体のモデル化	1,2	講義
2	スクワット動作の分析	1,2	講義、実習
3	椅子からの立ち上がりの分析	1,2	講義、実習
4	ジャンプの分積	1,2	講義、実習
5	歩き出しの分析	1,2	講義、実習
6	歩行の分析	1,2	講義、実習
7	歩行の分析	1,2	講義、実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	ボディダイナミクス入門 1	医歯薬出版		
	ボディダイナミクス入門 2	医歯薬出版		
その他の資料				
【評価方法】 レポート	【履修上の留意点】 人に見せたときに、見ただけでわかるようなノートをきちんとまとめる。 同級生に教えたり教えられたり協力し合って学習する。			